

令和元年度 第1回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事録	
日時：令和元年8月7日（水） 10：00～11：00	
場所：岡山国道事務所3階会議室	
配布資料	添付のとおり
議事	<ul style="list-style-type: none"> (1) 渋滞対策部会の概要 (2) 主要渋滞箇所の対応状況 (3) 観光地における渋滞対策 (4) その他渋滞対策 (5) 今後の予定
事務局	主要渋滞箇所の対応状況について説明。
事務局	主要渋滞箇所の国道30号「青江南交差点」について、特定解除候補箇所として提案を行った。
会長	「青江南交差点」について、異論がないため特定解除とする。
事務局	観光地における渋滞対策について説明。
倉敷市	<p>倉敷美観地区では観光シーズンに市役所の駐車場を利用して美観地区までのシャトルバスを無料運行している。シャトルバス運行期間（GWを含む15日間）で約2万6千人が利用しており、昨年と比べて大幅増であった。</p> <p>シャトルバスの存在を知った理由、情報源をアンケートしたところ、約3割が「警備員による誘導」と回答している。警備員による誘導の際の停車が渋滞に繋がってしまうため、今後とも効率的な情報提供が必要であると考えている。</p>
中国地方整備局	<p>観光地の渋滞要因として、駐車場を探してうろつく車両が多いことも考えられるため、駐車場の満空情報を提供することも含めて検討してほしい。</p> <p>宮島や出雲ではAIカメラを使用した満空情報提供を実施している。</p>
倉敷市	今年5月に倉敷市中心市街地がスマートシティモデル事業（重点事業化促進プロジェクト）として選定された。事業内容は具体的に決まっていないが、民間会社と協力し美観地区周辺の車、人の動きを解析することなどで渋滞対策の立案にもつながることを期待しているところである。
事務局	その他渋滞対策について説明。
会長	モビリティ・マネジメントは民間事業者や市民の協力が必要である。関係機関で連携し、実施可能な施策から取り組んでほしい。
事務局	引き続き、渋滞対策に取り組み、次回は3月ごろに進捗を報告する予定。

以上